

I. 目的

「がん診療連携拠点病院等の整備について（健発 0110 第 7 号平成 26 年 1 月 10 日付厚生労働省健康局長通知）」におけるがん診療連携拠点病院の指定要件「PDCA サイクルの確保」に関連して、広島県内の各がん診療連携拠点病院（国及び県指定）のがん相談支援センター業務である「**就労に関する相談**」への取組みを、PDCA サイクルを用いて相互評価後、全体討論し、がん相談支援センターの「就労に関する支援」の質の向上を目的とした。

II. 対象

広島県内がん診療連携拠点病院（国及び県指定）の 16 施設 がん相談支援センター

III. PDCA サイクル報告

P（計画）	D（実施）
①県拠点がん PDCA サイクル評価シート修正案を部会に提出 ②PDCA サイクル取組み方法や内容について第 1 回部会で説明し決定 ③各病院 PDCA サイクル評価シートに計画まで記入し、7 月末に事務局へ提出 ④相互評価マッチングを事務局で決定 ⑤第 2 回部会にて、マッチングおよび各病院の計画の進捗状況を発表 ⑥第 3 回部会にて、相互評価、全体検討・評価 ⑦全体検討・評価の内容を協議会に提出	①PDCA サイクル評価シート修正案を部会に提出し承認された（6/30） ②PDCA サイクル取組みは、第 1 回部会で就労支援について取り組むことで決定した ③各病院 PDCA サイクル評価シートに計画まで記入し、7 月 31 日までに全施設から提出された ④マッチングを決定し第 2 回部会で発表した ⑤第 2 回部会にて、8 病院が進捗状況を発表し、意見交換を実施した ⑥第 3 回部会にて、相互評価、全体討議・評価した ⑦2019 年度第 1 回広島県がん診療連携協議会報告
C（点検・評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・全施設共通の項目を課題として取り上げたこと、タイムリーなテーマでもあり、活動しやすかった。来年への取組みに活かしたい。 ・他施設の状況や取組みなど、参考となる情報を共有することができた点が良かった ・マッチング病院間で中間評価があれば、充実した実施につながったのではないかと。 ・各拠点病院の取組みをより具体的に聞くために、1グループの施設数を増やすほうがよい。病院単位だけでなく、地域ごとにまとまった活動も検討したい。 ・テーマに沿った関係者（ハローワークや産業医等）と意見交換できる場があると、より効果的な連携ができ、PDCA サイクルがよりスムーズに進行できたのでは。 ・年度初めに計画を立てれば、他職種との連携もしやすかったのでは。 	
A（改善）	
<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度第 1 回がん相談員研修会で就労・両立支援について研修テーマに取り上げる ・2019 年度の目標も「就労に関する支援の質の向上」と決定し、2019 年度第 1 回部会において全施設 PDCA サイクル評価シート「計画 P」までを提出し、年度初めから活動する。 ・PDCA サイクルの評価方法を一部変更し実施する（1 グループを地域ごと 5 病院で実施） 	

IV. 総評

「がん診療連携拠点病院等の整備について（健発 0110 第 7 号平成 26 年 1 月 10 日付厚生労働省健康局長通知）」に基づく都道府県における相談支援機能強化に対し、都道府県がん診療連携拠点病院（広島大学病院）を中心に、平成 30 年度 1 年間を通し広島県内の各がん診療連携拠点病院（国及び県指定）のがん相談支援センターの「就労支援に関する取り組み」を、PDCA サイクルを用いて相互評価後、全体討論を行った。すべての拠点病院において、就労に関する取り組みが計画的に実施でき、相互評価および全体共有することによって、他施設の取組みを参考に改善、次年度の PDCA サイクルへ繋がった。よって、平成 30 年度広島県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会における PDCA サイクルが確保できたと評価する。次年度は、評価方法を検討し引き続き実施する。